



図 3. 桜島 2月6日11時25分の爆発的噴火（黒神河原（昭和火口から東約3km）にて撮影）

観測され、また中岳第一火口南側火口壁の一部の噴気孔では引き続き赤熱現象が確認されたが、中岳第一火口の湯だまりの湯量や表面温度に変化はない。

期間中、DOAS（紫外線差分吸収分光計）を用いたトラバース法による火山ガス観測を3回行った。二酸化硫黄放出量は一日あたり200～600トンで、やや少ない状態が続いている。

桜島（31°34'38"N, 130°39'32"E（南岳））

昭和火口では、2月3日00時39分に火口付近に噴石を飛散する程度のごく小規模な噴火が発生し、同日10時18分と15時54分には爆発的噴火が発生した。その後、昭和火口ではごく小規模な噴火を繰り返していたが、6日10時33分と11時25分に再び爆発的噴火が発生した。2月3日10時18分の噴火では噴石が4合目（火口から約1km）まで飛散し、同日15時54分の噴火では火砕流が火口から東に約1.0kmまで流下した。6日11時25分の噴火では火砕流が火口から東に約1.5kmまで流下し、噴石が5合目（火口から約500m）まで飛散した。昭和火口では2月6日11時25分の噴火以降は、噴火の発生はない。

南岳山頂火口では、1月7日に爆発的噴火が発生したほか、ごく小規模な噴火が時々発生した。

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動も1月中旬以降少ない状態で経過している。

島内のDOAS（紫外線差分吸収分光計）を用いたトラバース法による二酸化硫黄放出量は、昭和火口の噴火活動中は一日あたり2,600～3,800トンと、それまでの一日あたり1,000トン前後から増加したが、2月7日及び2月13日の観測では一日あたり800～1,200トンと2月3日の噴火以前の状態に戻っている。

国土地理院のGPS連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ注入による膨張が続い

ている。

薩摩硫黄島（30°47'35"N, 130°18'19"E（硫黄岳））

硫黄岳山頂火口の噴煙活動は依然としてやや活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上概ね200mで推移した。

火山性地震はやや多い状態が続いている。発生した地震の多くがB型地震で、A型地震も時々発生した。いずれも震源は硫黄岳山頂火口直下と推定される。振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が時々観測された。

諏訪之瀬島（29°38'18"N, 129°42'50"E（御岳））

爆発的噴火が時々発生したほか、小規模な噴火も発生した。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、集落（御岳の南南西約4km）で降灰が時々確認された。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

（お知らせ）最新の火山活動解説資料は気象庁ホームページの以下のアドレスに掲載しています。

URL http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.htm

（文責：気象庁地震火山部火山課 加藤幸司）

○教員の公募について

【岡山大学大学院自然科学研究科】

1. 職名・人員：教授または准教授・1名
2. 採用分野：地球システム科学
3. 着任時期：決定後できるだけ早い時期
4. 所 属：岡山大学大学院自然科学研究科先端基礎科学専攻地球システム科学講座（理学部地球科学科兼任）
5. 応募資格：

- (1) 博士の学位を有すること
 - (2) 地球システム科学的視点から地球の進化過程、地球環境の変動・将来予測、あるいは自然災害等に関する教育研究を熱意を持って推進できる方。
6. 担当予定授業科目:
- (1) 教養教育科目: 地学及びその他の関連科目
 - (2) 学部及び大学院自然科学研究科 (博士前・後期課程): 専門分野に関連する専門科目
7. 提出書類:
- (1) 履歴書: 学位明記, 写真添付, 署名捺印(様式は市販の履歴書に準ずる)
 - (2) 採用を希望する職種とその理由
 - (3) 研究業績目録(査読付原著論文, 総説, 著書, その他の報告に区分して記載)
 - (4) 主要研究業績 10編の別刷(最近5年間の業績を主体に代表的なもの; コピー可)
 - (5) 研究業績の概要(2000字程度)
 - (6) 教育経験がある場合は, これまでの教育活動の概要(1000字程度)
 - (7) 採用された場合の研究と教育に対する抱負(2000字程度)
 - (8) 外部資金の獲得状況
 - (9) 応募者について意見を伺える方2名の氏名, 所属, 連絡先提出書類は全てA4判横書きとし, それぞれ別葉とする。
- 各々に氏名を明記すること。なお, 応募いただいた書類は返却しません。
8. 公募締切: 平成20年5月9日(金)必着
9. 書類送付先:
- 〒700-8530 岡山市津島中三丁目1-1
岡山大学理学部地球科学科 千葉 仁 宛
(封書に「応募書類在中」と朱書のうえ, 書留で送付のこと)
10. 照会先:
- 岡山大学理学部地球科学科 千葉 仁
(電話: (086) 251-7781,
e-mail: hchiba@cc.okayama-u.ac.jp)
11. 公募締切後の選考段階で, 面接あるいは講演会等を行うことがあります。ただし, 旅費は支給できません。地球科学科の教員構成等については, HP(下記)をご覧ください。
- <http://www.desc.okayama-u.ac.jp/index.html>
(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに3月19日送信しました)

○教員の公募について

【北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター】

1. 職種・人員: 教授・1名
2. 専門分野: 地震予知を目指し, 地震や地殻変動の観測を中心とした地球物理学的手法による基礎的研究を推進する。理学院自然史科学専攻および理学部地球科学科の教育を担当する。
3. 着任予定時期: 2009年4月1日以降のできるだけ早い時期。
4. 応募書類:
 - (1) 履歴書(国内外の学会活動, 受賞歴, プロジェクト研究参加歴, 各種研究費の受領歴, 学位審査履歴(主査, 副査のほか実質的指導を含む), 非常勤講師の経歴, 社会貢献などを含む)
 - (2) これまでの研究経過(A4用紙2枚程度)
 - (3) 研究業績目録(以下のように区分して記載)
 - A. 査読のある論文および総説
 - B. 査読のない論文および総説
 - C. 著書
 - D. 解説, 報告書などその他の出版物で特に参考になるもの
 - (4) 主な論文の別刷または著書 5編(複写可)
 - (5) 今後の研究計画(北海道における地震や地殻変動の観測の将来展望を含む)と教育の抱負(A4用紙2枚程度)
5. 応募の締め切り: 2008年6月10日必着 封筒の表に「教授応募書類」と朱書きし, 書留にて郵送すること。
6. 書類の送付先および問合せ先:

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
北海道大学大学院理学研究院附属
地震火山研究観測センター 村上 亮
TEL: 011-706-4484
Email: mccoopy_mm@mail.sci.hokudai.ac.jp
7. 資料: 当センターの概要, メンバー等は, 下記ホームページ参照。
<http://www.sci.hokudai.ac.jp/grp/isv/isv-we>
(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに4月17日送信しました)

○ポルトガル Azores 大学火山地質危機管理センター公募

ポルトガル Azores 大学火山地質危機評価センターでは, ポスドクの公募をしております。

以下に案内を掲載しますので, ご興味のある方は直接連絡先にコンタクトしてください。

The Centre of Volcanology and Geological Risks Assessment (CVARG) from the Azores University, Azores islands, Portugal, through the Azores Regional Government, has an open call for 3 post-doctoral positions with the following titles:

Announcement FRCT/2008/112/016 - CVARG - Geodesy
Grant title, "Application of geodesy techniques to the monitoring of seismovolcanic and hydrothermal systems"
Responsible scientist: Teresa Ferreira, Teresa.JL.Ferreira@azores.gov.pt

Announcement FRCT/2008/112/017 - CVARG - Seismology
Grant title - "Development and implementation of early warning systems based on automatic estimation of seismic source parameters"
Responsible scientist: Teresa Ferreira, Teresa.JL.Ferreira@azores.gov.pt

Announcement FRCT/2008/112/019 - CVARG - Seismology
Grant title - "Broadband seismic network operational improvement through automatic seismic waveform recognition by pattern matching and spectral decomposition"
Responsible scientist: Nicolau Wallenstein ?
Nicolau.MB.Wallenstein@azores.gov.pt

The call is open until April 15, 2008.

How to apply: Interested candidates should look for details about application procedures, grant conditions, candidates profiles and projects to develop at the Internet site

<http://sctridi.azores.gov.pt>.

The applications should be formalized through the electronic submission of the form made available in this same website.

For additional details on each grant please contact the corresponding responsible scientist.

Information about CVARG can be found at the web site:

<http://www.cvarg.azores.gov.pt>.

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに3月26日送信しました)

○ Ph.D. コース学生募集のお知らせ

Ph.D. Opportunity in Computational Geodynamics at J.W. Goethe University Frankfurt

The Earth Science Institute (section Geophysics) at J.W. Goethe University Frankfurt invites applications for a Ph. D. student positions in computational geodynamics. The successful candidate will study the transport of geofluids (water, melt) at subduction zone settings. This project involves the application of two-phase flow theory and use of numerical modelling to better constrain subduction zone data (earthquakes, magma composition, etc.). Supervisors will be Dr. Guillaume Richard and Prof. Harro Schmeling, in collaboration with Dr. H. Iwamori (University of Tokyo, Japan). Oversees collaboration implies stays in Tokyo.

Applicants should be highly motivated, creative and have a master degree in physical/mathematical sciences, computer sciences, or earth sciences. Experience in scientific programming would be a plus. Our institute is a modern and diverse environment emphasizing multidisciplinary interactions.

Complete applications must include statement of personal interests, curriculum vitae and contact information of two referees, and should be sent to Dr. G. Richard (paper form accepted, electronic form preferred). Review of applications will start immediately and continue until the position is filled. Please visit the dedicated web page, at

<http://www.geophysik.uni-frankfurt.de/~richard>

or contact Dr. G. Richard (richard@geophysik.uni-frankfurt.de) for up to date information.

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに4月17日送信しました)

○第52回粘土科学討論会のお知らせ

主催: 日本粘土学会

会期: 2008年9月3日(水)~5日(金)

会場: 沖縄ポートホテル

〒900-0036 沖縄県那覇市西1-6-1

講演: A. 一般講演(口頭発表, ポスター発表, 提案型セッション)

B. 会長講演 坂本尚史(千葉科学大学)

C. シンポジウム「エネルギーと粘土」

一般講演の申込:

申込方法:

日本粘土学会ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/cssj>

2/index.html からお申込みください。講演ごとに1通の参加申し込みフォームをお送りください。講演概要はプログラム編成に使用いたしますが、合わせて日本粘土学会ホームページに討論会プログラムとともに公表しますこと、ご了承ください。

なお、発表者の内1名は本学会会員であることが必要です。Web ページが使えない場合は、下記 問合せ先(1) までお問い合わせください。

申込開始: 2008年5月13日(火) 12:00~

申込締切: 2008年6月10日(火) 必着です。Web ページからの申込の場合は確認のための返信をいたしますので、返信がない場合は再度ご連絡をお願いいたします。

参加登録料: 会員(共催学会員を含む) 3,000円,
学生会員 1,000円, 非会員 5,000円

講演要旨集代: 3,000円

講演要旨締切: 2008年7月25日(金) 必着

懇親会: 9月3日(水) 18:30~ 沖縄ポートホテル

会 費: 一般 6,000円, 学生 3,000円

官製はがきに参加者氏名・所属を記入して、下記 問合せ先(2)にお送り下さい。

見学会: 9月5日(金) 工業技術センター、やちむんの里一読谷、美ら海水族館、万座毛(ノジュール)(予定)

会 費: 未定

官製はがきに参加者氏名・所属を記入して、下記 問合せ先(2)にお送り下さい。

問合せ先(1)(講演・講演要旨送付先):

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

琉球大学農学部 生産環境学科

農地環境管理学講座内

第52回粘土科学討論会実行委員会

金城和俊(渡嘉敷義浩 気付)

TEL. 098-895-8778 FAX. 098-895-8734

電子メールアドレス: wa614@yahoo.co.jp

問合せ先(2)(懇親会・見学会申込先):

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

琉球大学農学部 生産環境学科

農地環境管理学講座内

第52回粘土科学討論会実行委員会 渡嘉敷義浩

TEL. 098-895-8778 FAX. 098-895-8734

電子メールアドレス: toka2841@agr.u-ryukyu.ac.jp

〒901-0155 沖縄県那覇市金城4丁目1番地3

サザンツーリスト株式会社

担当者・友寄兼造, 玉寄哲也

TEL. 098-891-8000(代表) FAX. 098-891-8005

電子メールアドレス: tomoyose@salada.co.jp

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに3月10日送信しました)

○地震研究所共同利用改善のためのアンケートのお願い

東京大学地震研究所は全国共同利用研究所として改組以来今年の6月で14年になります。この間、研究者の皆様にとってより良い共同利用サービスを提供するよう努力してまいりましたが、このたび、皆様のご意見・ご要望を取り入れて一層「使い勝手の良い共同利用」を実現するため、アンケートを実施することにしました。下記の共同利用ホームページからアンケートのページへお進みになり、忌憚のないご意見・ご要望をお寄せください。なおご回答くださった方には先着で感謝のしるしの品物を差し上げます。

http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/KYODO_RIYO/index.html

この件についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

東京大学地震研究所 研究支援チーム(研究協力担当)

tel: 03-5841-5677 fax: 03-5689-4467

e-mail: k-kenkyu@eri.u-tokyo.ac.jp

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに3月12日送信しました)

○IAVCEI GA 講演締め切り近づく

火山学会員の皆様

4年に一度のIAVCEI(国際火山学・地球内部化学協会)総会(General Assembly)が8月17-22日アイスランドで開催されます。

講演申込締め切りが4月1日と近づきました。

以下のサイトから詳細を知ることや講演申し込みが出来ます。

是非、日本火山学会員の皆様には、4年に一度の機会を逃さず、積極的な参加をお願いいたします。

<http://www.iavcei2008.hi.is/page/I08-intro>

なお、早期登録の締め切りも同日です。

また、次回は5年後の2013年に総会開催を計画しており、その開催地立候補受付もすぐに案内があります。

IAVCEIについての紹介は以下を参考にして下さい。

http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/nakada/SCJ_IAVCEI/index.html

<http://www.iavcei.org/>

日本火山学会国際委員長 中田節也

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに3月15日送信しました)

○ Caldera collapse WS の案内

皆様

カルデラ崩壊ワークショップがメキシコで開催されます。ご興味ある方は **HP** をご覧ください。

講演申込締め切りが 5 月 15 日です。

The 2008 Collapse Calderas Workshop

October 19-25, Queretaro, Mexico

<http://www.gvb-csic.es/CCW.htm>

国際委員会/**IAVCEI** 小委員会 中田節也

(**IAVCEI** 関連の会議や情報については以下をご覧ください)

http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/nakada/SCJ_IAVCEI/

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 4 月 9 日送信しました)